

男性皮膚用化粧品の出荷額は約10年で約2倍に増加！

男性の意識も大きく変化！8割がスキンケアは身だしなみ！と回答
約4割の男性が化粧水を使用！

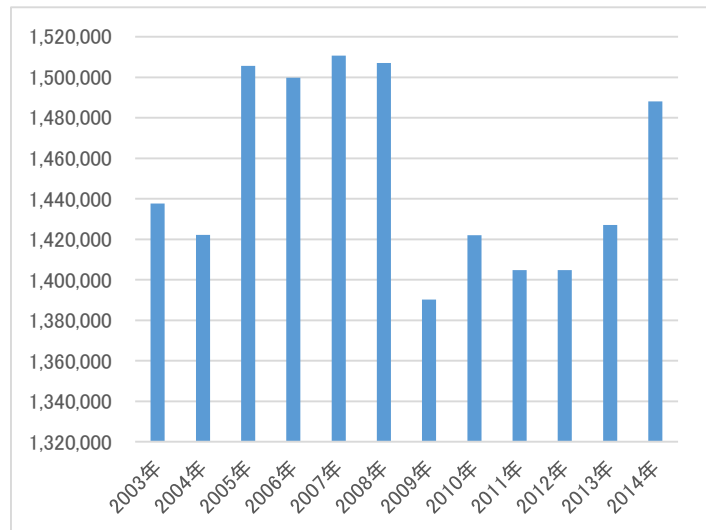
化粧品全般の出荷額は減少、男性皮膚用化粧品の出荷額は約10年で約2倍に増加！

産業経済省が発表している化学工業統計年報によると約10年間の化粧品全般の出荷額は減少しているが、男性皮膚用化粧品の出荷額は約2倍となる222億円となっています。
男性のスキンケア意識の高まりにより、化粧水を使用する男性の増加など若年男性を中心にスキンケアが日常生活に定着しています。実際に「自分の肌に合ったものを使いたい」「きれいな肌でいるのはエチケット」という声もあり、今や男性のスキンケアは“当たり前”の時代に入っています。

○化粧品全般の過去10年の出荷額(出典:産業経済省 化学工業統計年報)

化粧品全般	金額(百万円)
2003年	1,437,727
2004年	1,422,141
2005年	1,505,637
2006年	1,499,725
2007年	1,510,696
2008年	1,507,105
2009年	1,390,243
2010年	1,421,959
2011年	1,404,813
2012年	1,404,803
2013年	1,427,028
2014年	1,488,085

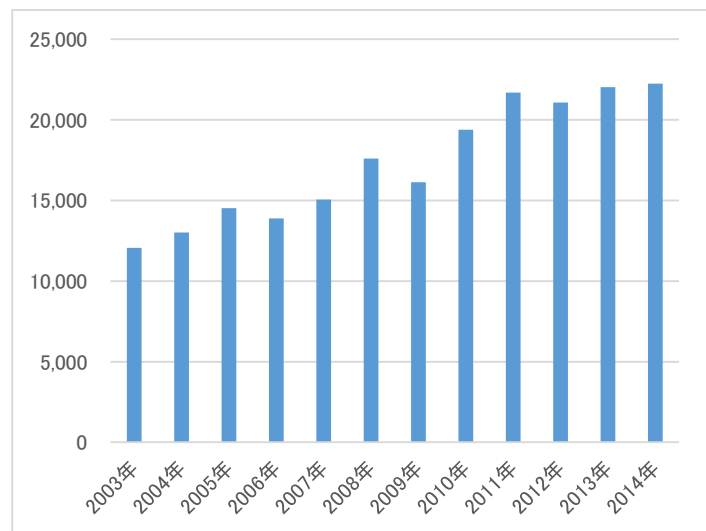
※出典:産業経済省 化学工業統計年報



○男性皮膚用化粧品の過去10年の出荷額(出典:産業経済省 化学工業統計年報)

男性皮膚用化粧品	金額(百万円)
2003年	12,055
2004年	13,021
2005年	14,525
2006年	13,887
2007年	15,061
2008年	17,600
2009年	16,134
2010年	19,391
2011年	21,694
2012年	21,079
2013年	22,019
2014年	22,239

※出典:産業経済省 化学工業統計年報



【調査結果サマリー】

ウェルシヤス事業を手掛ける株式会社ブラシナが実施した、20～50代の男性を対象に、スキンケアに対する意識・実態を尋ねる調査によると、女性と同様に「若くキレイな肌でありたい」という意見が

大多数で、男性にとってもスキンケアは当然の身だしなみとして捉えられていること、また「年取や出世とスキンケア習慣」についても、ユニークな関係性が明らかになりました。

1. 男性のスキンケアに対する意識

○81.6%の男性が「男性もスキンケアは身だしなみとしてすべき」と回答。
 また、全体の88.1%が「若くキレイな肌でありたい」という意向をみせ、過半数を超える53.8%の人が「仕事がデキる人は、肌もキレイだと思う」と答えた。

近年、男性のスキンケアに対する意識・関心が高まっていることは、他者の調査等でも確認されてきましたが、今や女性のそれと同様に、男性にとっても肌を手入れすることが当たり前のことになっており、若々しい肌でありたいと望んでいることがわかりました。

<主な項目とデータ>

- ・「男性もスキンケアは身だしなみとしてすべき」(81.6%)
 ※「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」と答えた人の合計以下同じ
- ・「若くキレイな肌でありたい」(88.1%)
- ・「肌がキレイだと自分に自信が持てる」(59.6%)
- ・「仕事がデキる人は、肌もキレイだと思う」(53.8%)

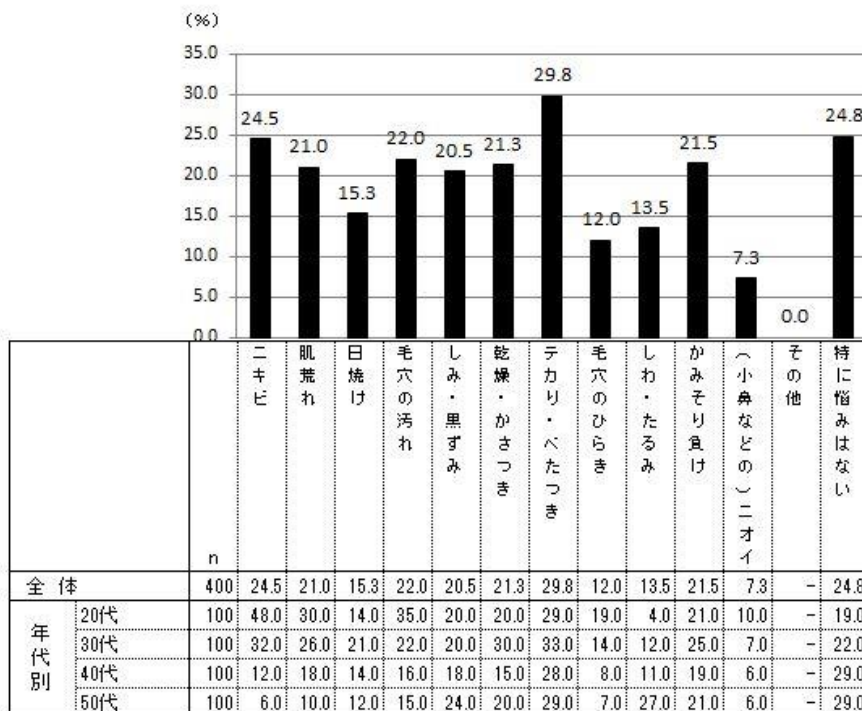
○7割以上の男性がお肌に悩みあり。主なお肌の悩みは、1位「テカリ・ベタつき」(29.8%)、2位「ニキビ」(24.5%)、3位「毛穴の汚れ」(22.0%)。

男性の肌に対する悩みを尋ねたところ、1位「テカリ・ベタつき」(29.8%)、2位「ニキビ」(24.5%)、3位「毛穴の汚れ」(22.0%)、4位「カミソリ負け」(21.5%)、5位「乾燥・かさつき」(21.3%)という結果となり、ほぼ同率で「肌荒れ」「しみ・黒ずみ」と続きました。

年代別に見ると、全世代を通して「テカリ・ベタつき」に悩む方が多く、20代・30代では「ニキビ」「肌荒れ」、40代・50代と年代が上がるにつれ、「しみ・黒ずみ」「しわ・たるみ」といった相応の悩みが現れる結果になりました。

<参照:グラフ1>

■グラフ1. 顔の肌について、どのような悩みをお持ちですか？(複数選択可)



2. メンズスキンケアの実態

○肌の手入れをしている(日常的にしている/気になる時など、たまにしている)男性は全体の約7割(70.8%)と、男性にとってもスキンケアすることが当たり前の時代に。

肌の手入れをしているかについては、「日常的にしている」(44.0%)、「気になる時など、たまにしている」(26.8%)と、合算で70.8%を占めました。<表1>

	n	日常的にしている	気になる時など、たまにしている	していない	
全体	400	44.0	26.8	29.3	
年代別	20代	100	67.0	19.0	14.0
	30代	100	56.0	26.0	18.0
	40代	100	34.0	29.0	37.0
	50代	100	19.0	33.0	48.0

○30-50代では、スキンケア習慣と年収にユニークな関係が。

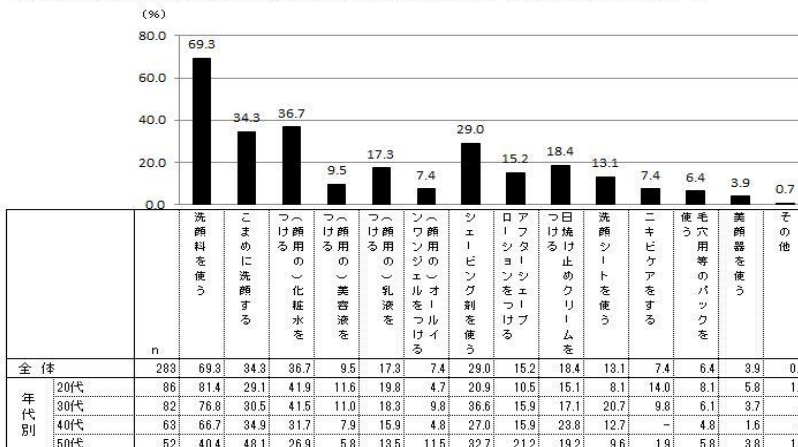
30-50代で年収を600万円未満と600万円以上とで分けて見た場合の「日常的にスキンケアしている」割合は、600万円以上だと40.4%と600万円未満の29.2%を大きく上回りました。また中でも30代の差は顕著で、年収800万円以上の80.0%が日常的にスキンケアしているのに対し、年収400万円未満の層は40.0%という結果になりました。<表2>

	n	日常的にしている	たまにしている	していない	
全体	100	56.0%	26.0%	18.0%	
年収	800万以上	20	80.0%	20.0%	0.0%
	600-800万	35	65.7%	14.3%	20.0%
	400-600万	25	36.0%	36.0%	28.0%
	400万以下	20	40.0%	40.0%	20.0%

○スキンケアの方法は「洗う」止まりが多数となったものの、「化粧水をつける」が約4割(36.7%)で2位に位置するなど、保湿の必要性も認識されてきているようです。

スキンケアの方法については、「洗顔料を使う」が69.3%と圧倒的な1位だったのに対し、次点の「化粧水をつける」は36.7%に留まりました。3位以下は、「こまめに洗顔する」(34.3%)、「シェービング剤を使う」(29.0%)、「日焼け止めクリームをつける」(18.4%)が続きました。

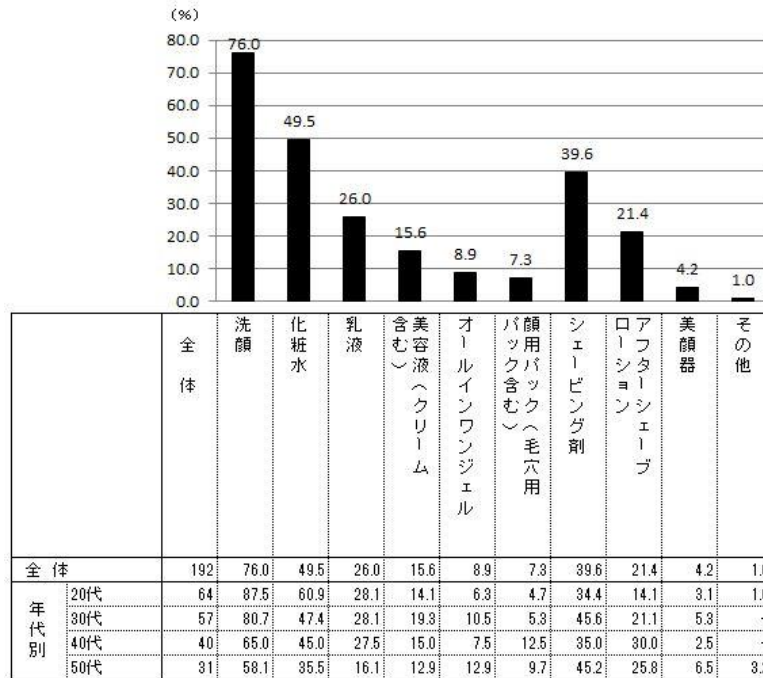
■グラフ2. 具体的に、どのようなスキンケアを行っていますか？(複数選択可) ※スキンケアをしている人ベース



○20代男性の64.0%は何かしら“自分専用”のスキンケアアイテムを保有。“マイ洗顔”の保有率は56.0%。

「日常的にスキンケアしている」(67.0%)と、世代別でもっともスキンケア浸透率の高かった20代男性では、全体の64.0%が自分専用のスキンケアアイテムを持っていると回答。
 中でも、洗顔の所有率は56.0%と高く、次点の化粧水(39.0%)・乳液(18.0%)を大きく上回りました。
 また、洗顔と化粧水を併せ持つ人は34.0%。
 自身の洗顔/化粧水/乳液を所有する人は17.0%という結果になりました。

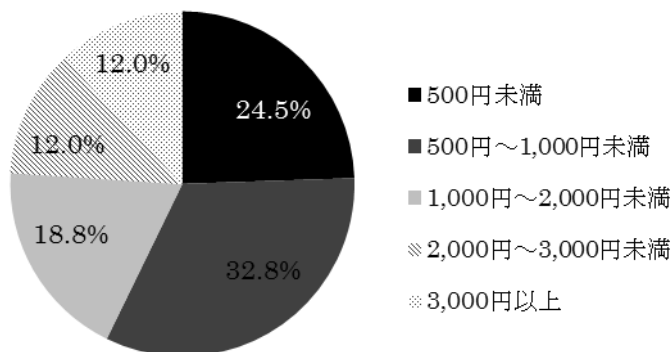
■グラフ3. 自分専用のスキンケアアイテム(複数選択可)
 ※自分専用のスキンケアアイテムを持っている人ベース



○1ヶ月あたりのスキンケア予算は2,000円未満が約8割(76.1%)で、7割以上の方はドラッグストアを中心に購入しているようです。

1ヶ月のスキンケア予算については、ほぼ全ての年代で500円~1,000円が1位となり、次いで500円未満、1,000円~2,000円という結果になりました。<グラフ4>
 また、「どこでスキンケアアイテムを購入するか?」という問いに対しては、ドラッグストアが72.9%と他を大きく引き離して1位となり、コンビニエンスストア(23.4%)、イオンなどのスーパーマーケット(20.8%)が続きました。

■グラフ4. スキンケアにかかる金額(1ヶ月あたり)※自分専用のスキンケアアイテムを持っている人ベース



3. スキンケアと仕事/プライベートの充実度

○ 日常的にスキンケアをしている人ほど、仕事もプライベートも充実していると認識。

スキンケアの頻度別に、仕事やプライベートの充実感をみると、日常的にスキンケアをしている人ほど、仕事もプライベートも充実しているという結果になりました。
 また、「周りと比べて出世や昇給が早い方だと思いますか？」という問いに「そう思う/どちらかと言うとそう思う」と答えた人の割合も、スキンケアをしていない方々が23.9%なのに対し、日常的にスキンケアをしている方々は51.3%と過半数を超えています。
 スキンケアは当たり前の身だしなみの一つになってきていることに加え、仕事の面でもプラスの結果を生み、人生の充足感を高めてくれる習慣であるとも言えそうです。

■表2.スキンケアと仕事/プライベートの自己評価

		そう思う	どちらかと言うとそう思う	あまりそうは思わない	そう思わない
今の仕事は充実していますか？	全体	17.8	40.5	30.8	11.0
	状況別のケース	26.1	41.5	22.7	9.7
	日常的にしている	14.0	47.7	28.0	10.3
	気になる時など、たまにしている していない	8.5	32.5	45.3	13.7
プライベートは充実していますか？	全体	16.0	44.3	27.5	12.3
	状況別のケース	23.3	44.9	17.6	14.2
	日常的にしている	11.2	42.1	36.4	10.3
	気になる時など、たまにしている していない	9.4	45.3	34.2	11.1
周りの方々と比べて、出世や昇給は早い方ですか？	全体	8.3	30.8	40.5	20.5
	状況別のケース	9.7	41.5	30.1	18.8
	日常的にしている	8.4	27.1	48.6	15.9
	気になる時など、たまにしている していない	6.0	17.9	48.7	27.4

■ 調査概要

調査期間: 2015年8月5日～8月7日

調査対象: 全国の20代～50代の男性 400人(内訳 20代/30代/40代/50代以上 各100名)

調査方法: インターネット調査

■ アンケート結果に関するお問合せ先

株式会社ブラシナ広報部 担当/三原(みはら)

TEL: 03-6226-2388 FAX: 03-6226-2389 E-mail: mihara@brasyna.com